

「全鍍連」 2018年4月号 巻頭言

全鍍連 環境委員長 清川 肇

「驚きの創出」



平成 29 年より環境委員会委員長を仰せつかっております清川肇です。

弊社は毎年、正月明けの年賀式に年度方針を発表します。その年度方針に沿って 1 年間の事業計画を各部署が立てていきます。平成 30 年の年度方針は「驚きの創出」です。

大手のお客様は、自社でめっき工程を持っています。そのようなお客様からお仕事を頂くためには、お客様以上の品質、納期、コストを提供する高い技術を持っていなければなりません。お客様の期待度はどんどん上がってきており、そのようなお客様に対して、満足をし続けて頂くことは波大抵なことではありません。更に、この先将来お客様に満足以上の何かを感じて頂くにはどうしたらいいかを考えた時、それは感動ではないか、そのために驚きが必要ではないかと思いました。

弊社は、小さいものへのめっきを得意としています。「大気に舞っているチリにもめっきできます。」とお客様に言うと、驚いて「どうやってめっきするんですか？」と必ず質問されます。めっきは手品と同じでタネを明かすと、「なんだ、そんなことだったのか！」と言われるので、タネを明かしたことはありません。しかし、技術的には凄い事ではなくても、人の気づかないノウハウの組み合わせでお客様の期待に応え、お客様を驚かせることにより、感動を覚えて頂けるのではないかと考えております。



全国鍍金工業組合連合会は、今年で設立 70 周年になります。設立 100 周年の頃の世界は全く想像できませんが、今の進化のスピードからすると自動運転どころか車が空を飛んでいるかもしれませ今とは全く違ふ。今後の製品の中には、う技術を必要とするものも沢山出てくるでしょう。皆様の会社にも、ノウハウの組み合わせでお客様を驚かせるような様々な技術があると思います。全国鍍金工業組合連合会の次の設立 100 周年に向けて、それらの技術による「驚きの創出」でお客様にたくさんの感動を届けたいと思います。

最後になりますが、今年、福井は 37 年ぶりの 150cm を超す大雪となりました。大雪は豊作の年とも言われています。雪掻きも良い年になる前兆と思って頑張りたいと思います。